

- (1) 開会
出席(学校) 中川校長、瀧澤副校長、三條教頭(全日)、武藤教頭(定時)、管野事務長
(評議員) 黒元浩志、太田隆久、岡田理恵、前野史賀 ※都合により欠席: 春田淳一
- (2) 校長挨拶
- (3) 給食指導見学
- (4) 全日制部活動見学
男子バレーボール部、男女バスケットボール部
- (5) 定時制授業見学(1~4学年)
- (6) 学校概要について
 - ・全日制について(三條教頭)
 - ・定時制について(武藤教頭)
- (7) 平成28年度学校評価自己評価集計結果(中間自己評価)について
 - ・全日制について(瀧澤副校長)
 - ・定時制について(武藤教頭)
- (8) 意見交換

【全日制】

黒元評議員:「PTA活動の現状について、どういう状況か?」

(回答):「仕事などの関係で参加者が減っている。研修旅行は学年毎の実施から3学年合同としたが、それでも本年度は13人となってしまっている。」

黒元評議員:「保護者に行事の目的がしっかり伝わっていないのかもしれない。また、会長・副会長と連携して保護者の方々に協力してもらえるようにするとよい。」

黒元評議員:「先生からの意見の中に『教員間の横のつながりが全くない・・・』というものがあるのは心配だ。」

(回答):「大きな所帯なので、どうしても学年毎・分掌毎のグループでの動きが中心になる傾向にある。ただし、『横のつながりが必要だ』という強い認識を持っていることの証でもある。」

岡田評議員:「具体的にどう対応するか。」

(回答):「いろいろなプロジェクトなどを通じて横のつながりを持てるようにしたい。」

太田評議員:「町内の交通安全・マナーについて、生徒たちに注意を促して欲しい。学校付近で生徒の自転車が車と接触する事故があった。今回は物損事故であったが、命に関わる問題だ。」

(回答):「旗の波運動などを通じて交通安全の意識付けを行ってきたが、今後さらにしっかり指導していく。」

太田評議員:「保護者の送迎の車が学校前車道に並び町内の民家前にまで連なっている状態である。冬場の夕方で暗い時間に車の間から急に飛び出す生徒がいて危険である。」

(回答):「保護者及び生徒に注意を促す。」

黒元評議員:「『冬場の自転車通学禁止期間に市内の駐輪場に放置されている自転車について、滝川高校のステッカーが付いているものが多い。』ということを度々関係機関の方から聞いている。学校として対応して欲しい。」

(回答):「再度呼びかけ、自宅に持ち帰らせるよう指導する。」

岡田評議員:「『教職員としての専門性の向上・・・』の評価が昨年度2.9から本年度2.6と下がっている。原因としてどういうことが考えられるか。」

(回答):「昨年度と校内研修の内容が変わったことが原因と考えられる。昨年度は授業・カリキュラムに直結する内容だったが、本年度は別の内容であった。」

岡田評議員:「『SSH事業を推進するため、全校体制をとることができた。』の評価が2.6と低い。SSHを始めたら国公立合格者が減ったという声もある。」

(回答):「SSHの取組で進路実績が下がってはいない。取組内容は今後必要とされる学力を育む取組であり、社会に出てからも役立つものである。また、今後の入試改革対応を先取りしていると見える。」

黒元評議員:「遅刻者の減少は良いことだと思う。継続して取り組んで欲しい。体験入学会については部活紹介・PRを充実して欲しい。市内の他校では積極的に取り組んでいる。」

岡田評議員:「体験入学会など学校行事については評議員にも知らせて欲しい。行事の日に来られるかどうかはわからないが、学校の様子を知りたいし、学校のことを多く知ればそれだけこの場で話せることも多くなると思う。」

(回答):「今後はお知らせするよう努める。」

【定時制】

前野評議員：「定時制の授業について、生徒たちはしっかり取り組んでいる。給食のマナーも良い。」

黒元評議員：「生徒たちは落ち着いており大変良い。こうした環境の中、先生たちもぜひ今後とも丁寧に指導いただきたい。」

岡田評議員：「定時制の入学生確保については引き続き頑張ってもらいたい。（全日制・定時制両方に関わって）過日空知管内の特別支援教育関連研修があったが、滝川高校からの参加が無かった。今後ますます大切になる事項と思うので、こうした研修に積極的に参加して欲しい。」

岡田評議員：「科目履修講座については広報不足だと感じる。以前のように滝川市の広報誌やプレス空知などで周知するべきと思う。また、開講科目が減ってしまっているが、何とか増やして欲しい。」

（９）閉会・校長挨拶

<記録者>：定時制教頭 武藤 禎弘